

2011～2012年度

# 中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2011～2012年度  
国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために

国際ロータリー会長  
カルヤン・バネルジー

国際ロータリー2720地区 **中津平成ロータリークラブ**

会長 二反田新一 幹事 若松 定生 会報担当 川崎 潤 クラブ広報委員長 川崎 潤

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

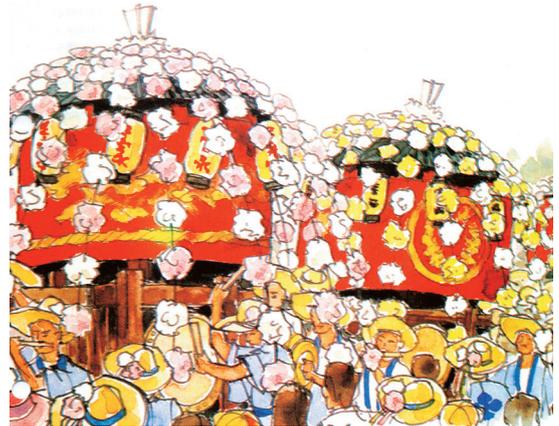
e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

## 第1076回例会 平成24年6月28日(木)

●本日の例会プログラム 最終夜間例会 会長・幹事慰労会  
18:30～ グランプラザ中津ホテル

◎次回例会プログラム 平成24年度活動方針発表



### 前回(1075回例会)の記録

平成24年6月21日(木)

#### ■ゲスト

#### ■ビジター

山本洋一郎氏(中津RC)

#### ■出席報告

会員数	23名
免除者数	2名
対象者数	21名
本日出席者	15名
欠席者数	6名
出席率	71.43%

#### ■前々回出席報告の修正

前々回欠席者	7名
メイクアップ	2名
欠席者	5名
修正出席率	66.67% → <b>76.19%</b>

#### ●メイクアップ

若松幹事、熊谷会員

#### ●欠席者

土居会員、松本会員、矢頭会員、渡邊会員、宇都宮会員

◎ロータリーソング それでこそロータリー

◎会長の時間 会長 二反田新一

いよいよ来週の例会が最終例会となりました。本日の例会では卓話の時間で、今期を振り返ってということで、会長としての一年の感想を述べさせていただきます。と言っても、ほとんど反省の弁になってしまうかもしれませんが、ご勘弁願います。ただ、こうして一年間、周りの方々の協力を得て、任期を終えることができるのは大変ありがたく思いつつ、会長を受けてよかったなと感じています。



人は、常に決断、選択を繰り返して生きています。それは個人的なレベルから、家庭内、職業上、社会生活と様々な場で繰り返されています。自らの判断が多くの人たちに影響を与えるという重要な立場の人も多くいます。

もともと優柔不断な私は速い判断、決断が苦手でした。若いころは周りの女性の方がきっぱりとしていました。今になって気付いたことなのですが、女性の判断の基準は、それが好きか嫌いかが大勢を占めているように思えます。好きか嫌いだけで生きていければこれほど幸せなことはありません。

私は仕事の見習いで、福岡の同業者に住み込みで1年勤務した経験があります。ある日配達のトラックの中でその社長が助手席の私に言ったことが今でも心に残っています。「商売をしてると判断に迷うことが日常茶飯事だ。その時に、損得だけを基準にすると後で問題を引き起こすことが多い。迷った時の判断の基準は、損得でなく、それが正しい事か否か。私も嬉しい、相手も嬉しい商売。取引相手、末端のお客さん、お客さん以外の一般社会の人たち、誰に対してもちゃんとした説明のできる製品づくり、商売をしない。」この言葉は、30年が過ぎようとしている今でも私の心の支えとなっており、好き嫌い、損得が絡む難しい判断の基準になっています。

この社長の言葉と驚くほどよく似た言葉があります。ロータリーの「四つのテスト」です。

直訳: Of the things we think, say or do (物事を考えたり、発言したり、行う時は、)

①Is it the TRUTH?それは真実ですか?(嘘はありませんか?)

②Is it FAIR to all concerned?(それは関係するすべての人に対してフェアな事ですか?)

③Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?



(それは信頼と友情を深めるか?)

④Will it be BENEFICIAL to all concerned? (それは関係するすべての人々に有益であるか?)

先の社長は自分の仕事を通して感じたことを私に話してくれたので、もちろんロータリアンでもありませんし、「四つのテスト」も知りません。しかし、要点は全く同じです。ロータリークラブが職業奉仕を基礎に発展してきたことを深く実感します。

#### ◎幹事報告 幹事 若松定生

●例会変更 宇佐八幡RC、宇佐2001RC

●幹事報告

・湯布院RCより創立20周年記念誌 (PDF書類) 届く



#### ◎委員会報告 辛嶋次期幹事

例会終了後、次期理事会を開催致します。

#### ◎ニコニコボックス 担当：ロータリー財団委員会

[二反田会長] 週報を皆さんにメールするのを忘れていました。今日の卓話と会長の時間の2つの原稿を作る事に集中し過ぎて、忘れてしまいました。

[若松幹事] 永松会員が以前、高野山の話をしていたので行きたいと思っていた所、嫁と一緒に行くつもりでしたが、色々あって嫁と娘で行く事になり、留守番になってしまいました。

[梶屋会員] ニコニコありがとうございました。

#### ◎卓話

「今期一年を振り返って」

#### ●二反田会長

会長として1年間の任期を終えようとする段階に到達しました。いつも申している事ではありますが、皆様のサポートでここまで来る事ができました。誠にありがとうございます。

今年国際ロータリー会長カルヤン・バネルジー(インド)のテーマは「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」であり、地区テーマは本田ガバナーの「心機一転」、それにならっての私の会長テーマが「Restart 中津平成再起動!」でありました。世界的に変革の著しい社会・経済の中で、ロータリークラブも会員の減少等、その荒波にさらされている現状です。国内においては、東日本大震災復興支援を通してロータリークラブの存在意義が問われた1年であったと思います。

会長職のスタートは昨年3月のPETSから始まり、中津3クラブの会長とガバナー補佐である中津クラブ川島会員とともに出席し、そのすぐ後には地区協議会が開催され、順調な滑り出しと思えましたが、地区協議会直後の幹事予定者の退会や7月という異例の早い時期でのガバナー公式訪問と、スタート当初にはやや混乱を招いてしまいました。幸い会長経験者であります若松会員が幹事を引き受けて下さり、多くのアドバイス、サポートを頂きながら、大変心強く会長職としての任期を遂行することができました。若松幹事においては、クラブ管理運営大委員長との兼務ということで大変なご苦労をお掛けしました事をお詫び申し上げますとともに感謝致します。また、それぞれの委員長さん、各担当の会員の皆様、年間の活動計画を全て予定通りに行うことができました。誠にありがとうございます。

クラブリーダーシッププランを取り入れてから今期は3年目を迎えました。会員数の減少を考慮してクラブ組織の簡素化を目的としたプランではありますが、各大委員長へ

の負担が大きくなっている事や、個々の会員の複数奉仕活動所属による目的意識の希薄化など問題点が挙げられるかと思えます。一番の解決策は会員の純増ですが、なかなか思うようにいきません。今期目標、純増3名でしたが、1名の入会と2名の退会で、-1となってしまう目標を達成できませんでした。

公式訪問、姉妹クラブ交流会とクラブ全体の行事としては例年のもの以外は特に大きな行事はありませんでした。東北復興支援に関しては日本のロータリークラブ全体で取り組んでいる支援とは別に中津平成RC独自の支援ということで前年の青木会長からの「仙台平成RC」への直接支援を継続させて頂きました。前期は姉妹交流積立金より、600,000円を、今期は会員一人当たり10,000円、約24万円+毎例会での募金箱寄付金を東北(仙台RC)へ送付させて頂く予定です。来期も継続して頂く事をお願い致します。

また、今期は特別に震災支援として「塩釜RC」へ離島連絡船再開のための寄付金として新年例会のニコニコ(約5万円)を送付させて頂きました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

1年間の会長任期を終えるにあたって、仕事とロータリーの時間配分を保つていくことは大変なことであり、歴代会長の苦勞を身にしみて感じました。しかし、中津平成RC全体を見つめる1年でもあり、個人的には新たな目線でロータリーを考える貴重な1年でもありました。来期からはまた、新たに一会員として、ロータリー活動に取り組んで行きたいと思っています。

#### ●若松幹事

2回目の幹事でしたが、引き受けて良かったと思っています。1回目の時ははてさてご無罪でしたが、2回目は非常にやりやすかったので、未経験の方は副幹事に経験者をつければやり易いと思います。

#### ●会員増強・退会防止委員会 委員長 長野(定)会員

2名の退会、1名の入会でした。

#### ●クラブ広報委員会 委員長 川崎会員

週報もペーパーレス化が定着してきました。HPの更新については、やり残しがあります。

#### ●クラブ管理運営委員会 委員長 若松会員

プログラムについては、ゲスト卓話を増やしたかったが皆さんから会員卓話を増やした方が良いとの意見がありました。結婚記念日の花については、後1名で完了します。歴代会長のミニ卓話も行いました。姉妹交流も熊本にて無事に終了しました。

#### ●奉仕プロジェクト委員会 委員長 長野(修)会員

清浄園の子供達と安心院でグラウンドゴルフを楽しみました。また、特別養護老人ホーム「むくの木」の職場訪問を行いました。バングラデシュへの図書も寄贈も行いました。

#### ●ロータリー財団委員会 梶屋会員

年次プログラム基金一会員10ドルとポリオ撲滅へのロータリーのチャレンジとして一会員50ドル寄付を目標としました。年次プログラム基金については、達成しましたがポリオ撲滅は未達成でした。